



【先週 7月7日～7月13日の外食の出来事】

■ハイディ日高、第1四半期(2019年3月～5月)の業績 増収減益

ハイディ日高の2020年2月期 第1四半期の業績は売上高106億8900万円(対前年同期比0.4%増)、経常利益12億8600万円(同5.7%減)、四半期純利益8億5900万円(同6.3%減)であった。

■串カツ田中、既存店4ヶ月連続マイナス 値下げキャンペーンでも動かず

串カツ田中ホールディングスが5月の月次実績を発表した。既存店で客数前年比98.1%、客単価96.3%で、売上高94.5%。3月から4ヶ月連続でマイナスが続く。平日のサラリーマン層の客数が回復しなかったという。

■壱番屋、三井物産とインド進出 カレーの本場に挑戦

壱番屋は、三井物産とインドに「CoCo 壱番屋」を出店するための共同出資会社を設立した。壱番屋がインドに進出するのは初めて。2020年をメドに首都のニューデリー近郊に1号店を出し、5年間で10店の出店を目指す。

■銚子丸、2019年5月期 通期の業績 増収増益

銚子丸の2019年5月期 通期の業績は売上高193億1600万円(対前年同期比2.8%増)、経常利益9億8200万円(同59.4%増)、当期純利益5億500万円(同65.4%増)と増収増益を確保した。

■鳥貴族6月、客数戻るも客単価上がらず 全店売上も初マイナスに

株式会社鳥貴族が、2019年6月の月次実績を発表した。既存店で客数99.9%、客単価97.4%減で、売上高97.2%。客数は4月から3ヶ月連続でほぼ前年をキープしてきたが、客単価が上がらなかった。

■くら寿司、年収1千万円で新卒採用 海外出店に本腰

株式会社くらコーポレーションが、新卒で年収1千万円でエクゼクティブ採用を始めた。採用は10名。26歳までで、TOEIC800以上、簿記3級以上を条件とする。海外勤務ができる方。年収は、実績をもとに1年ごとで見直す。

■吉野家HDの3～5月期最終、超特盛で10億円の黒字に転換

2019年3～5月期の連結決算は、最終損益が10億円の黒字(前年同期は3億8800万円の赤字)だった。牛井店「吉野家」で牛井の新サイズ「超特盛」がヒット。既存店売上高が好調で、人件費や材料費などの高騰を吸収した。

■サイゼリヤ、営業益2%増 18年9月～19年5月期

2018年9月～19年5月期の連結決算は、営業利益が前年同期比2%増の65億円だった。中国など海外で新店が増えたことに加え、海外の既存店も好調だった。海外が伸びた一方、国内の既存店売上高は2%減だった。

■コメダHDの3～5月期、純利益5%増 出店拡大が寄与

2019年3～5月期の連結決算は、純利益が前年同期比5%増の13億円だった。13店を新たに出したことが寄与して、売上高にあたる売上収益は6%増の73億円だった。売上収益は6%増の73億円だった。